

「臨床環境医学」投稿規定

編集方針

臨床環境医学 (Japanese Journal of Clinical Ecology) は生活環境 (住宅、食物、衣料、大気、水などを広く含む) に起因および影響される臨床疾患の病態解明、診断、治療、予防および基礎的研究論文を受け付ける。

1. 本誌は臨床環境医学に関する総説・展望・原著・臨床報告・短報・症例短報を受け付ける。
2. 論文は会員による著述とし、共著者数は原則として筆頭著者を含め6名までとする。原則として筆頭著者を含め全員が会員であること。
3. 論文は編集方針にしたがって加筆、訂正、修正など求めることがある。
4. 投稿論文の採否は編集委員会が決定する。
5. 原稿は、400字詰原稿用紙に楷書で書くこと。ワードプロセッサを使用する場合は1頁400字詰にして作成すること。この場合、最終査読後の Disc 添付をお願いする。
報文は英語または日本語とする。
 - 1) 外国語の固有名詞 (人名、地名など) は言語とするが、日本語として一般化している外国語はカタカナでもよい。薬品名などは一般名を使用し、商品名はカッコ内にいれて (...) とすること。
 - 2) 数字は算用数字を用い、度量衡は CGS 単位を用いること。
 - 3) 略語はできるだけ避けること。(MS, DM など)
6. 原稿の規定枚数は次の通りとする。

	本文枚数 (20字×20行換算)	図・表(合計)
総説・展望	20枚以内	5個以内
原著・報告(臨床・事例)	15枚以内	5個以内
短報・症例短報	7枚以内	3個以内

7. 原稿は次の順序とし、別々の原稿用紙を用いること。
 - 1) タイトルページ
タイトルページには下記を記入すること。
 - ①論文の題名
 - ②著者名
 - ③所属 (①～③は和英とも)
 - ④連絡・校正先
 - ⑤別刷請求宛先 (和英とも)
 - ⑥本文・文献・図および表・図表の説明の各枚数
 - ⑦投稿希望覧 (総説、原著など)
 - 2) 抄録用紙には下記を記入すること。
 - ①和文要約400字以内
 - ②英文要約250語以内
 - ③キーワード (和文と英文にて5項目以内)
 - 3) 本文
本文が英語の場合はA4用紙に double space で印字する。
 - ①本文の区別は I. 1. 1) の記号の順に用いること。
 - ②本文欄外には図および表の希望挿入箇所を明記すること。
 - 4) 文献
 - ①引用文献は、原則として20以下とし、引用順に番号を付ける。本文中の引用箇所の右肩に文献番号を付ける。
 - ②文献の書き方は次の通りとする。
 - ・雑誌の場合
著者名：題名、雑誌名 巻：初頁－終頁、発行年

・単行本の場合

著者名：題名、編集者名：書名、発行所、発行地、発行年、pp 初頁－終頁

[例] 雑誌の場合

- 1) Aikawa H, Kinoue T, et al: Tokai High Avoider rat (THA rat) that maintains an inborn high learning ability. Jpn J Clin Ecol 12 : 101-109, 2003
- 2) 相川浩幸、遠藤整、他：THA ラット脳発育期に母体を介して低濃度ホルムアルデヒド曝露を受けた仔の行動への影響。臨床環境 12 : 32-41, 2003

[例] 単行本の場合

- 1) Hoyt WF, Daroff RB: Supranuclear disorders of ocular control systems in man. Bach-y-rita D, Collins CC, et al (eds): The control of eye movements. Academic Press, New York, 1971, pp175-235
- 2) 渡辺毅：視覚系における制御機構。田崎京三、大山正、他(編)：視覚情報処理、朝倉書店、1979, pp367-390

注意 ①共著者は2名以内を列挙する。

②雑誌名は略称を使用すること、欧文誌については Index Medicus 採用の略称を使用すること。

③日本で発行されたものは発行地は不要。

5) 図および表

①図の裏には上下を明記のこと。

②光学および電子顕微鏡写真には必要となるバーなどを原図内に書き込むこと。

(そのまま掲載されるので、見やすく作成すること)

6) 図表の説明

説明は和文、英文のどちらかに統一すること。英文の場合は Fig.1、Table1、和文の場合図1、表1と記載する。

8. 原著の本文は原則として緒言、方法、結果、考察とし、臨床報告では緒言、症例、考察とする。症例短報・短報は速報的意義のある実験やアイデアの紹介などを目的とする。

9. 投稿原稿は査読に送られるので、オリジナルのほかに総説・展望・原著・臨床報告にはコピーを3部、短報・症例短報にはコピーを2部同封のこと。なお、コピーで判別しにくい図に関してはオリジナル、もしくはそれと同等のものを送ること。(コピー原稿を保管しておくこと)

10. 図・表の著作権は日本臨床環境医学会に属するものとする。

11. 原稿は掲載後原則として返却しない。

12. 掲載料および別刷代などについて。

仕上がり頁数6頁以内は無料とする。

ただし次の件については別途請求とする。

1) 頁超過料金：1頁ごと15,000円

2) カラー図版費(製版および印刷)：本人負担

3) 図版製作費(トレース・修正など)：実費

4) 著者校正は、原則として1回行うがその際大幅な修正が行われた場合、その費用は徴収する。

5) 別刷代：30部までは無料贈呈、それ以上は有料とする。

原稿投稿先：

〒252-0373

神奈川県相模原市南区北里1-15-1

北里大学医療衛生学部公衆衛生学教室

「臨床環境医学」編集室

TEL/FAX 042-778-8073